

第29回理事会・第15回社員総会 議決

平成30年度

事業報告書

平成30年4月1日から

平成31年3月31日まで

公益社団法人 北之台雅楽アンサンブル

【基本方針】

- (1) 公益目的事業Ⅰ—国内雅楽演奏会等の開催
- (2) 公益目的事業Ⅱ—海外雅楽公演等の開催
- (3) 公益目的事業Ⅲ—教育機関等における雅楽紹介
- (4) 管理・広報部門の充実（法人活動）

【具体的事業】

1. 公益目的事業Ⅰ—国内雅楽演奏会等の開催

① 国内雅楽演奏会

【事業名 1－1：地域における雅楽の振興

／夷隅の桜・菜の花まつり雅楽演奏】

- a. 事業の趣旨：地域の催しに参加し、地元の方々に雅楽に親しんでいただく機会を増やす。
- b. 日 時：平成 30 年 4 月 7 日（土）14：00～
- c. 場 所：出雲大社上総教会境内
- d. 対 象：一般 100 名
- e. 入場料：無料
- f. 内 容：舞楽「甘州」
- g. 主 催：夷隅の桜・菜の花まつり実行委員会
- h. 反 響：当日は小雨模様の天気だったが、たくさんの方が訪れて喜ばれた。来賓の太田市長より、5 月 11 日に開催される米国ウイスクンシン州ウォパン市一行歓迎会での雅楽演奏の依頼を受けた。

【事業名 1－2：地域における雅楽の振興／おたち祭雅楽演奏】

- a. 事業の趣旨：地域の催しに参加し、地元の方々に雅楽に親しんでいただく機会を増やす。
- b. 日 時：平成 30 年 10 月 31 日（水）17：30～
- c. 場 所：長者天神社境内
- d. 対 象：一般 150 名
- e. 入場料：無料
- f. 内 容：雅楽演奏（それぞれ 2 回実施）
管絃「平調音取」「陪臚」
舞楽「浦安の舞」

- g. 主 催：おたち祭実行委員会
- h. 後 援：長者町商工会
- i. 反 響：回を重ねるほどに見学者は増えてきており、雅楽が地域に浸透していることが感じられる。

②雅楽に関する講演会

【事業名1：第九回「雅楽と国際文化交流」】

- a. 事業の趣旨：本企画は、国内外の各界の有識者を招聘し、日本文化を中心に多岐に渉るテーマについてご講演をいただき、国際文化交流を推進すると共に、日本の伝統文化である雅楽の紹介を願いとしている。
第一部では、岸 均氏（元三井物産モロッコ支社長）よりテーマを決めて講演いただく。
第二部では、元宮内庁式部職楽部首席楽長・安齋省吾師に特別出演いただき、雅楽の演奏をする。
- b. 日 時：平成30年10月6日（土）14：30～
- c. 場 所：高輪プリンスホテル（東京、高輪）
- d. 対 象：一般100名
- e. 入場料：前売2,500円、当日3,000円
- f. 内 容：講演と雅楽演奏
第一部：講 演
講 師：岸 均氏（元三井物産モロッコ支社長）
講演内容：「50年以上になる三井物産の勤務経験（特に海外勤務）」
第二部：雅楽演奏
管 絃－「平調音取」「林歌」「陪臚」
舞 楽－「青海波」
安齋省吾師による笛の独奏「黄鐘調音取」「西王楽破」「拾翠楽」
- g. 主 催：公益社団法人北之台雅楽アンサンブル
- h. 後 援：在モロッコ王国大使館
- i. 反 響：会場は、岸氏の一橋大学時代のご友人であり、実業界、官界などでご活躍されている方々始め、日頃より当該アンサンブルの活動を支援いただいている多くの来賓に参集いただき、100席の会場は満席であった。
第一部は、元三井物産カサブランカ支社長の岸均氏による講演。「50年以上になる三井物産の勤務経験（特に海外勤務）」をテーマに商社マンとして長年月に涉って体験された

多くの逸話をユーモアたっぷりにお話し下さった。まさに日本の高度経済成長期を支えた日本のビジネスマンの貴重なご体験とご苦労話しを披露いただいた講演であった。とりわけ商社マンとしての仕事を通して培われた海外要人との出会い（ドゴール将軍、フジモリ大統領など）、そして退職後も続いているモロッコ要人の方々との交友関係を披露いただき、岸氏の温かな人望を垣間見る講演であった。第二部は、当アンサンブルによる雅楽を披露した。管絃「平調音取」「林歌」「陪臚」と舞楽「青海波」を演奏したのち、最後に元宮内庁楽部首席楽長・安齋省吾先生に解説を交えながら笛の独奏が行われた。多くの参加者から本企画への高い評価をいただいた。特に、同館のオーナーである宮城敬雄氏は、岸氏同様一橋大学出身で、指揮者として多くの海外オーケストラを指揮し、国内外で数多くの公演を重ねており、2013年からブラームス国際コンクール審査員に任命されている日本クラシック界の重鎮である。今回初めて間近に雅楽に触れられ、日本の伝統音楽への認識を深めることが出来ましたと謝辞をいただいた。

2. 公益目的事業Ⅱ—海外雅楽公演等の開催

① 海外雅楽公演及びそれに伴う事業

【事業名1：米国ボストン日本まつり雅楽演奏】

- a. 事業の趣旨：ボストン日本まつりは、現地日系企業、邦人団体が主催となって日本文化を紹介するイベントである。このイベントに参加することによって、雅楽を通して日米両国の相互理解、友好親善に貢献することを願いとする。
- b. 日 時：平成30年4月29日（日）
- c. 会 場：ボストン・コモン（全米最古の都市公園）
- d. 対 象：一般1,000名
- e. 内 容：舞楽「浦安の舞」
- f. 渡航人員：楽人1名、舞人1名、計2名
- g. 主 催：ボストン日本まつり実行委員会
- h. 協 賛：サンボー5財団、日本航空、手島精工、ヤマト運輸アメリカ他

- i. 後援：在ボストン日本総領事館、ボストン日本人会、ボストン日本協会、ボストン日本商業会、昭和女子大ボストン校他
- j. 反響：ボストン日本祭りは、2013年アメリカへの桜寄贈100年を記念して第一回が開催され、以来毎年行われている。来場者は年々増え、今年は2日間で7万人もの来場者が参加するという一大イベントとなった。当アンサンブルは第2回から参加し、第7回目になる今年は、舞楽「浦安の舞」を披露し、観客の皆さんにも一緒に合唱して頂くという形で実施し、多くの参加者から評価をいただいた。

本日のご公演ありがとうございました。お二人のご公演が始まると、どんどん人が集まってきて、大変嬉しく存じました。皆様にも歌を歌って頂くなど、ボストンの皆様にも親しみやすく工夫され、伝統の美を堪能できる一際（ひとときわ）素晴らしい舞台でした。

（在ボストン日本総領事 道井緑一郎、郁子御夫妻様）
舞楽のおかげでお祭りが一層華やぎました。雨の天候で心配しましたが、舞楽が始まるころから雨もやみ、そのあとは晴れ間さえ出てきました。ありがとうございます。

（元タフツ大学日本語講師 森田喜代子様）
来年はボストンー京都姉妹都市60周年となり、祭りも京都の後援を頂くことになりました。益々充実した祭りを実施して行きたいとスタッフ一同考えております。どうぞこれからもご指導頂きます様、宜しくお願い致します。また日本にて伺わせて頂くのを楽しみにしております。

（日本祭り実行委員長 八代江津子様）
今年も遠路はるばるお越しいただき、ありがとうございます。あいにくの天気でしたが、皆様の祈念が天に通じたかのごとく晴れ間が見えました。観客の皆さんは熱心に鑑賞し、タイガー大越教授（パークリー音楽大学教授）は大きな声で歌っていました。来年はより多くの人々に知っていただくために、もっと長い時間をとらせていただこうと考えています。これからもよろしく申し上げます。皆様の健康と発展をお祈り申し上げます。

（ステージ総監督 広本秀樹／ステージメイン司会 永井美知）

【事業名2：ハワイ公演】

- a. 事業の趣旨：本年は、ハワイ移民百周年の祝賀の年に当たり、ハワイ・ホノルルで例年開催されている一大日本まつり、「まつりインハワイ」に雅楽を持って祝賀することを願いとする。
- b. 日 時：平成 30 年 6 月 9 日（土）
- c. 会 場：アラモアナセンター（ハワイ州ホノルル市）
- d. 対 象：一般約 300 名。
- e. 内 容：舞楽「陵王」「甘州」（音源は CD）
- f. 渡航人員：5 名
- g. 主 催：まつりインハワイ実行委員会
- h. 共 催：国連の友
- i. 後 援：観光庁、ハワイ州政府、ホノルル市郡政府、在ホノルル日本国総領事館、ハワイ日米協会、ホノルル日本人商工会議所、ハワイ日系人連合協会他
- j. 協 賛：日本航空、デルタ航空、全日本空輸 他
- k. 反 響：ハワイ日系移民百周年記念事業に参加するため、北之台雅楽アンサンブルより 5 名がハワイを訪問し、祝賀行事に参加した。

当地では、ハワイ総領事館始め現地日本人会が中心となって運営委員会が設置され、多くのイベントが企画されていた。雅楽の紹介については、在ホノルル日本国総領事館より歓迎され、日系社会の方々始め現地ハワイアンの皆様に大変喜んでいただいた。

【事業名 3：フランス・ジャポニズム 2018 公演】

- a. 事業の趣旨：日仏修好条約 160 周年を日本博「ジャポニスム 2018」として『響き合う魂 - 日本の美意識』をテーマにパリを中心に多くの文化芸術イベントが開催される。当該アンサンブルとしても、開催趣旨に賛同し、雅楽公演開催をもって祝賀とする。
- b. 日 時：平成 31 年 1 月 25 日（金）19：00～ パリ公演
平成 31 年 1 月 26 日（土）19：00～ リュエイユ・マルメゾン公演
- c. 会 場：
 - ① パリ国際大学都市・日本館
 - ② リュエイユ・マルメゾン市・アテネ劇場
- d. 対 象：
 - ① パリ国際大学都市（学生・一般 120 名）
 - ② リュエイユ・マルメゾン市（一般 150 名）

e. 内 容 :

【第一部】

和琴独奏：「庭燎（にわび）」「小前張（こさいばり）の音取」

楽器紹介

管 絃：「平調音取」「越殿楽」

朗 詠：「嘉辰」

装束紹介

【第二部】

舞 楽：「甘州」「陵王」

f. 渡航人員：18名

g. 受け入れ機関：

① パリ国際大学都市・日本館

② リュエイユ・マルメゾン市（アテネ劇場）

h. 助 成：全日空（ANA）

i. 反 響：両公演とも、日仏友好160周年記念として実施された「ジャポニスム2018」参加企画の認定を国際交流基金よりいただいた。

当該公演は『1500年の継承を見る雅楽の楽器と装束』をテーマに実施された。雅楽の楽器、装束に焦点を当て、管絃、舞楽、朗詠とバラエティーに富んだ音楽性を披露した。より分かりやすい形で雅楽に親しんでいただくことの願いは、フランスの方々に理解されて評価をいただいた。

特にリュエイユ・マルメゾン公演は、同市と千葉県東金市との長年に渉る姉妹都市交流の一環として、志賀直温・前東金市長及び鹿間陸郎・現東金市長のご高配のもとに本事業は実現した。

現地では、リュエイユ・マルメゾン市パトリック・オリエ市長、フィリップ・トロタン副市長始め同市全スタッフをあげて歓迎いただき、運営は全てリュエイユ・マルメゾン市によって行われて大盛況であった。

【事業名4：2019年台湾雅楽公演】

2019年4月に開催予定の台湾雅楽公演の事前準備として、台湾渡航を企画したが、実施されなかった。

3. 公益目的事業Ⅲ—教育機関等における雅楽紹介

① 雅楽演奏会

【事業名 1 : いすみ市立夷隅小学校竣工式雅楽演奏】

- a. 事業の趣旨：いすみ市教育委員会より、統合小学校として夷隅小学校の新校舎が完成し、竣工式典が開催されるに当たり、祝賀としての雅楽演奏の依頼を受けて実施された。
- b. 日 時：平成 31 年 2 月 9 日（土）9：00～
- c 場 所：いすみ市夷隅小学校体育館
- d. 内 容：舞楽「北庭楽」
- e. 対 象：来賓 100 名（千葉県議会議員、いすみ市議会議員、いすみ市警察署長、いすみ市消防署長、施工建設会社、他市関係者）

② 雅楽体験教室

【事業名 1 : 伝統芸能・洋楽～ふれあい体験事業 千葉県庁委託事業】

- a. 事業の趣旨：当該事業は千葉県環境生活部県民生活・文化課策定の「伝統芸能・洋楽～ふれあい体験事業」実施要項に基づき実施する。千葉県内の小中学校の児童・生徒を対象に、邦楽理解の向上と伝統的音楽文化の普及・振興、並びに邦楽における後継者育成に寄与する。
- b. 日 時：①平成 30 年 9 月 21 日 習志野市立谷津小学校
②平成 30 年 10 月 23 日 八千代市立阿蘇中学校
③平成 30 年 10 月 26 日 成田市立久住中学校
④平成 30 年 11 月 13 日 四街道市立千代田中学校
⑤平成 30 年 11 月 20 日 旭市立富浦小学校
⑥平成 30 年 12 月 7 日 佐倉市立下志津小学校
- c. 場 所：各会場の体育館
- d. 参加者：①習志野市立谷津小学校 166 名（6 年生）
②八千代市立阿蘇中学校 154 名（全校生）
③成田市立久住中学校 116 名（全校生）
④四街道市立千代田中学校 382 名（全校生）
⑤旭市立富浦小学校 175 名（全年生）
⑥佐倉市立下志津小学校 268 名（全校生）
合 計 1,261 名
- e. 内 容：①鑑 賞
・雅楽鑑賞：管 絃「楽器紹介」「平調音取」「越殿楽」
・舞楽鑑賞：舞 楽「迦陵頻」
・朗詠鑑賞：朗 詠「嘉辰」
②体 験
・楽器体験

- 生徒が6グループに分かれて打物（鞆鼓・太鼓・鉦鼓）、笙、箏、龍笛、箏、琵琶の8種類の楽器を体験
- ・舞楽体験：舞楽「迦陵頻」の出手（でるて）の舞振り
 - ・朗詠体験：
朗詠「嘉辰」を一緒に歌う。

f. 「鑑賞」及び「体験」参加状況 (人)

学校名(学年)	参加者数	鑑賞	体験	
			楽器	舞楽
① 谷津小学校 (6)	166	166	166	0
② 阿蘇中学校 (全校生)	154	154	154	0
③ 久住中学校 (全校生)	116	116	116	0
④ 千代田中学校 (全校生)	382	382	382	382
⑤ 富浦小校 (全校生)	175	175	85	85
⑥ 下志津小学校 (全校生)	268	268	79	0
合計	1,261	1,261	982	467

※千代田中学校は、全校生徒が楽器体験、舞楽体験、朗詠体験の全て実施した。

g. 反響：

○雅楽・舞楽を鑑賞して

- ①普段聴くことができない雅楽を自校の体育館で演奏していただけたのは、本当に貴重な体験であった。日本の音楽らしくゆっくりしたリズムで、動画で見るよりも実際は迫力があり、洋楽とは違った良さを感じた。
- ②演奏者と聴衆が、時間と空間を共にできる喜びを味わうことができたひと時で、本当に感激をした。
- ③越殿楽という曲は、以前に教わったことがあり、とても興味深かった。平安時代の貴族の華やかな暮らしぶりが目に浮かんだ。
- ④迦陵頻という舞楽を鑑賞することができ、四人の動きが絶妙に合っていて、背中に着けている羽根が踊るたびに揺れて可憐であった。
- ⑤初めて雅楽を鑑賞したが、雅楽が千年以上の歴史があると聞いてびっくりした。このような日本の伝統芸能を聞いたり、体験するのはとても貴重な経験であった。今回の鑑賞会は、雅楽の良さや日本文化の良さを改めて知ることができた、とても素晴らしい機会であった。

○楽器体験を通して

- ①楽器の体験では、嬉々として楽器に触れており、やはり生の迫力と響きが一番であった。

- ②簡単そうに吹いていたけど、実際に体験するとなかなか音が出なくて難しかった。リードのくわえ方が難しかったけれど、優しく教えてもらえて、コツが分かると大きな音で吹けたので楽しかった。
- ③独特な音色で、とても不思議な音ばかりだったが、想像していたよりも、はるかにきれいな音であった。体験では、空気の入れ方や弾き方などを教えてもらい、どのように音を出しているのかがよく分かった。
- ④楽器の体験では、優しく教えてくださったので、やったことのない楽器でも音を出すことができた。私は、トランペットを吹いているが、また違った息づかいや音の出し方で難しかった。機会があったら、また雅楽を聞きたいと思った。

○全体を通して

- ①生徒たちは、音楽の授業で予習をしていたが、実際の楽器の響き、舞楽のきらびやかさと典雅な感じが素晴らしかったと感じていた。
- ②当日は、本校の保護者、研修の事務職員も一緒に鑑賞し、皆一同に感動していた。
- ③約千年も続いている雅楽が、今も演奏されていることに、歴史のある音楽であると感じた。たくさんの方の楽器に触れることができ、一つ一つの楽器の仕組みや吹き方などを教わり、体験できたいい機会であった。時間と人数の関係で、全ての楽器の体験ができなかったのが残念であった。
- ④学校では、西洋の音楽しか習わないので、日本の楽器について学ぶことができるととてもよかった。聞いているとゆったりとしてテンポで、すぐに眠くなってしまった。

【事業名 2 : 「米国ウィスコンシン州ウォパン市一行歓迎会」雅楽演奏】

- a. 事業の趣旨 : 「米国ウィスコンシン州ウォパン市といすみ市は姉妹都市を結んでおり、その一行の歓迎会がされ、雅楽演奏によって、国際交流に一助をなすことを目的に実施された。
- b. 日 時 : 5月11日(金) 18:00~
- c. 場 所 : 夷隅文化会館大ホール
- d. 内 容 : 舞楽「陵王」
- e. 対 象 : ウォパン市の中学生 16名及び付き添い4名といすみ市関係者約 30名
- f. 主 催 : いすみ市
- g. 反 響 : 参加者一同、真剣な眼差しではじめての舞楽を楽しめました。他にも、居合道、子供たちによる和太鼓グループによる

演奏が行われ、お互いの友好が深められた。

③ 雅楽研修会

本年度は、実施されなかった。

4. 管理・広報部門の充実（法人活動）

① 広報活動

- a. Web、情報誌、パンフレット、チラシを媒体とした PR 活動の推進
- b. 賛助会員募集（個人会員）の推進
- c. 情報誌（年一回）の作成（賛助会員配布用）

② 事務機能の充実

- a. 定款による事務業務の遂行

以 上